

◆いつ小野町へ移住しましたか？

会社を定年退職して、10年前に移住しました。

◆なぜ移住しようと思いましたか？

以前から田舎暮らしに憧れていました。病気をしたときに田舎暮らしに関する雑誌を読んで、本気で考えるようになりました。

◆なぜ小野町に決めましたか？

「土地が安いところ」「親戚が関東圏内にいるので、関東から200km以内のところ」「鶏を庭で飼ってもうるさいと言われないところ」を条件にいろいろな土地を見てまわりました。最終的に小野町に決めるまで5年かかりました。20回以上通って決めました。

◆知り合いがいなくて生活するのは不安ではありませんでしたか？

自分から地域の人に声をかけていきました。

気軽に話をする性格でないと難しいと思います。移住したら地域に溶け込むという姿勢で、地域の行事にも積極的に参加することが大切です。お葬式の手伝いに行ったことで地域の人に顔を覚えてもらいました。

◆小野町での生活はいかがですか？

畑で様々なものを育てています。自分が作ったものを食べるのはとても楽しいです。親戚にも配ったりして、好評です。お味噌などの作り方を地域の人に教えてもらったり、公民館のサークルにも参加したりして、いろいろなことに挑戦しています。

◆小野町の魅力は何ですか？

自然が多いこと、夜空の美しさが魅力だと思います。

お忙しい中、インタビューにご協力いただき、ありがとうございました。



宇田秀雄さん時子さんご夫妻

シリーズでご紹介している移住された方へのインタビューの第2回です。多くの自治体から小野町を選択した理由をお聞きすることで、町の魅力を再発見できるのではないのでしょうか？



宇田さんご夫妻は、お庭で様々な野菜や果物を育てています。キウイの栽培にも挑戦。甘いキウイを育てる方法を模索中です。

ふるさと小野町会の関根さんより  
飯豊小学校緑の少年団へ寄付

「ふるさと小野町会手芸部の関根みい子さん(飯豊出身)は、昨年に引き続き、飯豊小学校の緑の少年団に寄付しました。」

これは、ふるさと小野町会(先崎武会長)主催によるふるさと訪問ツアーで訪れた小町ふれあいフェスタ会場で、関根さんの手芸品を根本千恵子さん(飯豊出身)と二人で販売し、その売上金を寄付したものです。



関根さん手作りの「東京産のミネラルいちご」(左)と、「松ぼっくりのクリスマスツリー」(右)

